

## 大々ゲイマの危機管理 02

最終更新日 2016.09.28

作成 EduGo

### 【問題】

図 1-1 は、A さん（黒）と B さん（白）の対局の一部である。以下の局后感想に対し、最も適切な評価の組み合わせを選べ。

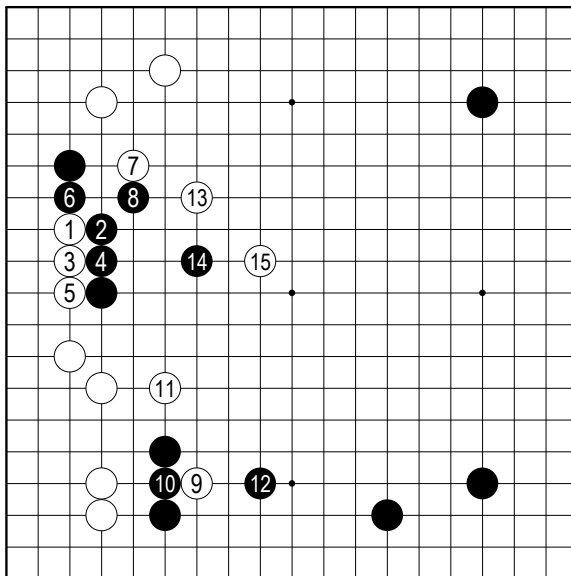
A：「昨日読んだ本にこんな感じの形があったから打ってみたけどどうだったんだろう」

B：「え、こんなの書いてあったの？白 1 の打ち込みで黒がまずいんじゃないかな？」

A：「でも、黒しのげそうだし、生きれば下辺の黒地が大きいと思うけど」

B：「う～ん、どうなんだろう……」

図 1-1



- ① B の主張は正しい。
- ② 図の実戦進行は黒が良い。
- ③ 白 1 の打ち込みは不適切である。
- ④ A の主張は正しい。
- ⑤ 白 3 では白 4 と打つべきである。

### 選択肢

- a. ①、②
- b. ②、③
- c. ③、④
- d. ④、⑤
- e. ⑤、①

【解答】

b

【要点】

A, B ともに焦点が微妙にずれた主張・発言をしている。

図 1-1 白 1 は打ち込みの地点として間違っていて（正しくは白 2）、黒が楽にしのげる展開になるはずだが、黒 6 で間違い黒の集団を重くしたため、白 7 以下白 15 まで黒が苦しむ展開になってしまった。

そのため、①,④の両者の主張はどちらも間違っており、②,③の内容は合っている。  
⑤については後述の解説にて触れるものとする。

【学習目標】

図 1-2 における黒△の幅を理解すること。

図 1-2

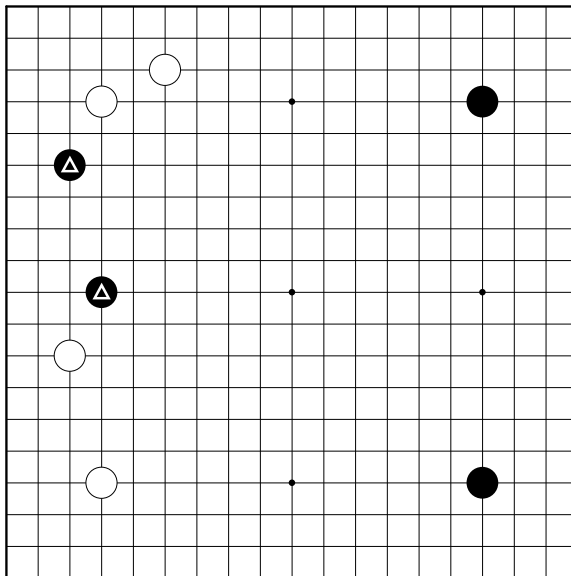




図 2-3

黒 1 のトビ（図 2-1 黒 2）があると、分断されずに済む。そのため、図 2-1 黒 2 が守りの形と言えるわけである。

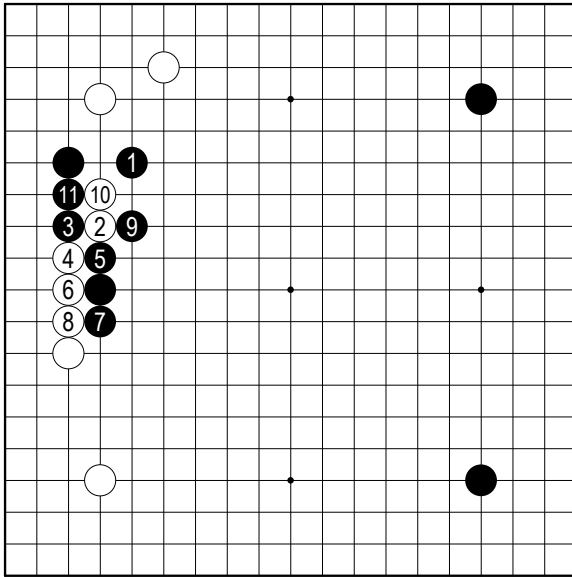


図 2-4

白 1 の分断の打ち込みに対して黒 2 などと受ける可能性はあるが、これに対しては白 3 と黒△のアタマをおさえるのが綺麗な形で、白が十分である。黒は A や B など別々にしのぐことになるが、黒の負担が大きい。

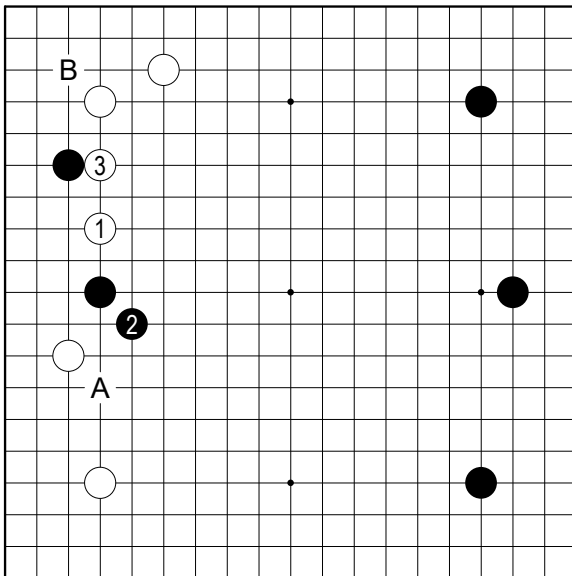


図 2-5

白 1 に対して黒 2 とツケる路線も考えられる。黒 4 の二段バネには白 5 以下鉄壁を作れば、白は辺や中央に対する厚みが得られ、黒は繋がることができず、黒△が弱体化する。

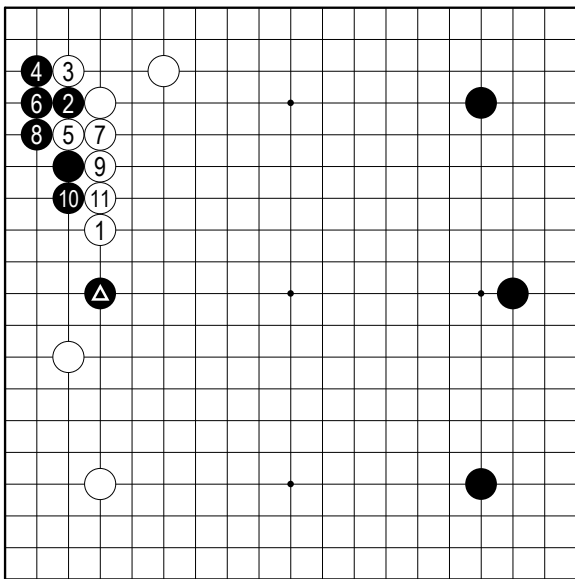


図 2-6

白 1 の一路下の打ち込みは意味合いが違う。こちらは陣地を荒らす目的である。黒 6 が形であり、白 7 とハネられても、黒 10 まで黒は中央に先に先着し整形することが可能である。黒からは A や B の味が残っており、白は辺の地を少々増やした程度である。

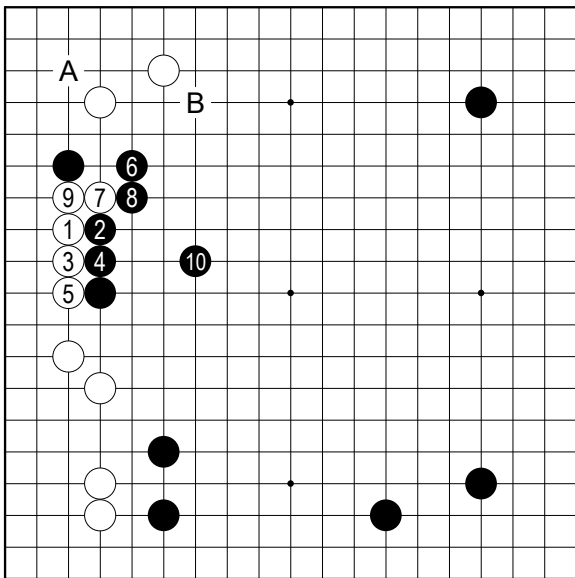


図 2-7

白7のブツカリにはきっちりおさえると黒の形が良くなる。

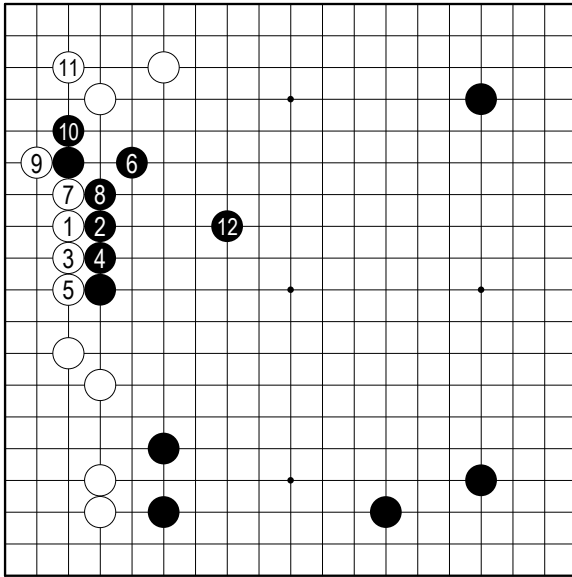
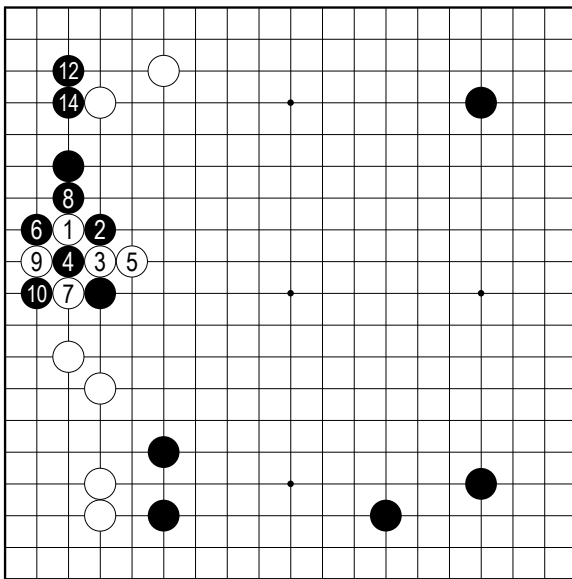


図 2-8

白3のハネコミは、黒4と反発される。黒10で白1にツグ手も考えられるが、派手にコウにする手がある。黒12などのソバコウ（コウになってる一団に関連するコウ材）があり、図の進行は一例だが、白の戦果はほとんどない。



⑪[①],⑬[④].

図 2-9

黒 1 のトビがあるときに、白 2 の下の打ち込みは考えられる。  
白は辺の黒地を荒らし、黒は中央に対する厚みを得て、相場のワカレである。  
この布石なら A が互いの必争点となる。

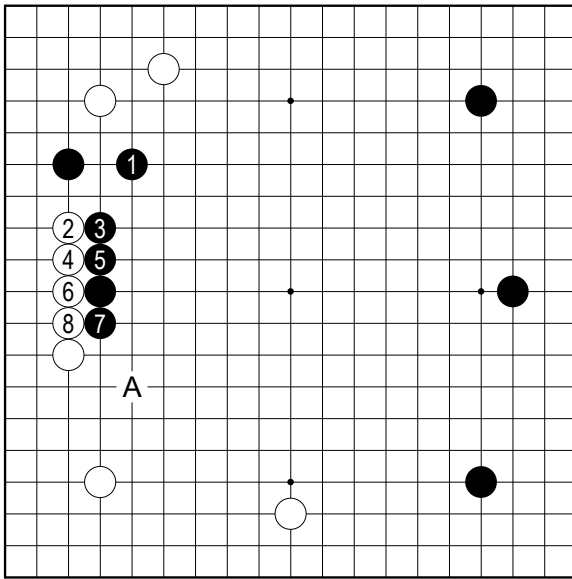
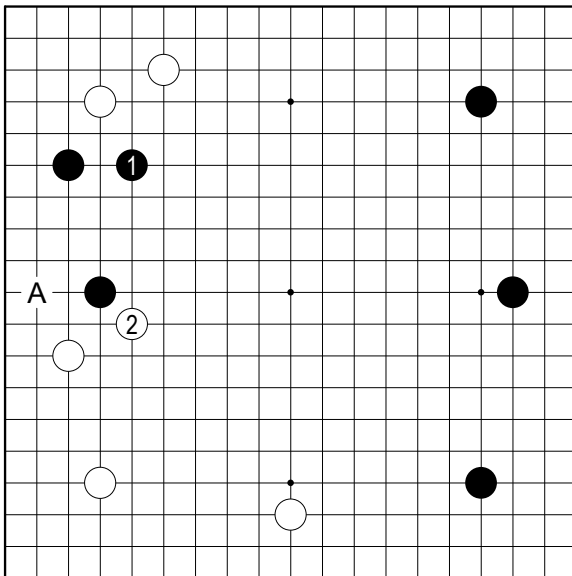


図 2-10

左下から下辺にかけて白模様を見込むなら、図 2-8 のようなハネコミではなく白 2 と単にカケるのが良い。白 A のスベリが残るのが利点である。



【Minimum Essence】

図 3-1

大々ゲイマの形に対して、白1のツメは急所で、手を抜くと白Aから分断されるため、黒2と受けるのが形である。

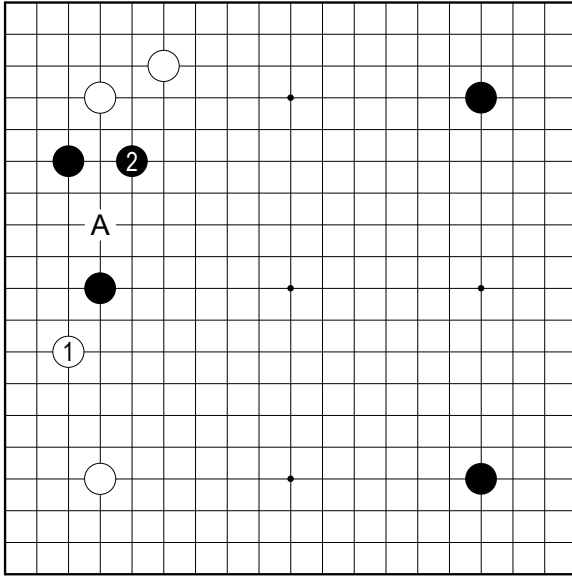


図 3-2

白3のような辺を荒らすタイプの打ち込みは怖くない。黒10まで黒Aと黒Bが見合いで黒に余裕がある。

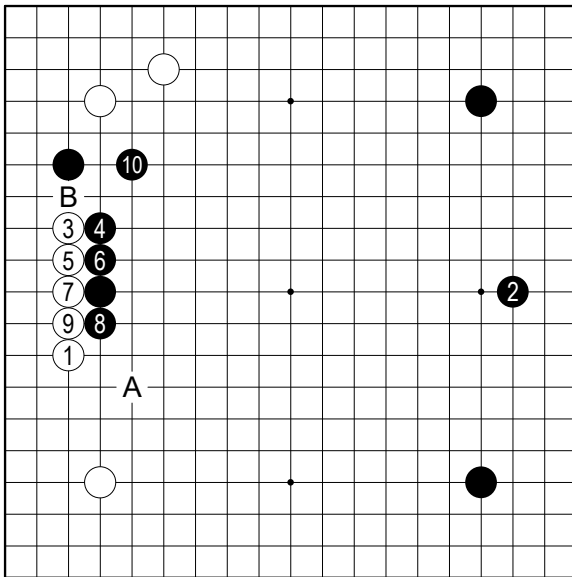




図 3-3

白1黒2の交換ののち、白からはAの打ち込み、Bのスベリが残っているため、辺に黒地をつけるのはあまり効率が良いわけではない。また白からは下辺に白のヒラキなどがあるなら、白Cとカケる手もある。これを嫌って、黒2を打つ前に黒D白Eの交換をすることもある。この交換は後に黒Eを狙って黒Bとトビ下がりをする意味合いをなくす手でもあるので、一長一短と言える。

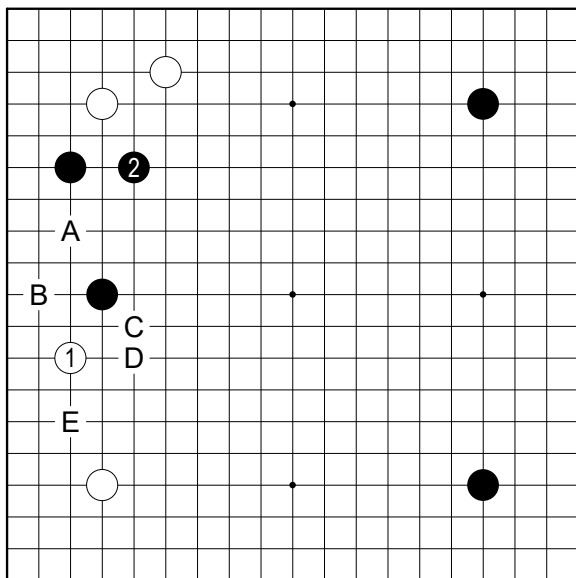


図 3-4

辺を簡単に荒らされることを嫌うならば、黒1と低く三間ヒラキすることが考えられる。白2に対しては、白Aの打ち込みに対して黒Bからのサバキ路線を考慮して手抜きも考えられるし、黒Dの打ち込みを狙って黒Cや左上への仕掛けを秘めた黒Eといった受け方も考えられるところである。

